もくれん
木蓮

第　38　号
金沢商業高校図書館だより
平成28年12月21日(水)

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれる木蓮のシンボルツリーがありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮」をお届けします。

餅は餅屋

パック包装された切り餅が普及し、家庭用の自動餅つき機も売られている現在、かつての歳末のように臼と杵を使って餅つきをする家はほとんどないでしょう。米屋や餅菓子屋につき賃を払ってついてもらうこともなくなりました。臼と杵で餅をつくには、経験がものをいいます。「餅は餅屋」は、餅屋がついた餅がいちばんおいしいことから、物事には専門家が必要というたとえに使われます。また、餅屋はやはり餅屋だけのことはあるという意味で「餅屋は餅屋」ともいいます。夏目漱石は『吾輩は猫である』で「餅は餅屋、猫は猫で、猫のことなら矢張り猫でなくては分からぬ。いくら人間が発達したって是許りは駄目である。……」と猫に言わせています。私たちも専門性を極めたり、強みを持ったりして、「あの人になら任せられる」「あの人なら確かだ」と言われるようになりたいものです。読書のことなら金商図書館と言われるよう図書館も努力します！

新着雑誌

『月刊ＭＯＥ』

月刊 Moe
ハリーポッター特集

●大人向け絵本雑誌です。今月はハリー・ポッターを特集。キャラクターや雑貨の情報も満載です。

新たな事業や商品、手法などを取材。ビジネスヒントが隠れています。経済の一歩先がわかります！

クッキング、生活、健康等に関する生活情報誌です。おいしそうなレシピは必見！

●創刊30年近くの日本を代表する洋画雑誌です。海外の最新作話が挑戦します。

図書委員がすすめる 読んで得するテッパン本

『リバース』湊かなえ著

深瀬和久は平凡なサラリーマンで、彼女もできたと思った矢先、謎の告発文が彼女に送りつけられます。そこにはたった一行、『深瀬和久は人殺しだ』と書かれていました。結末を予想していても最後の一行で裏切られます。　（３７H）

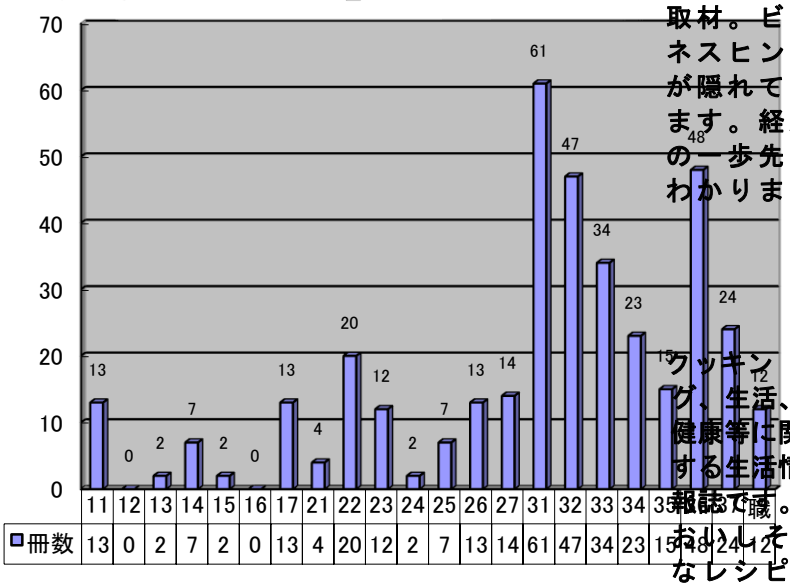
『昨日のカレー、明日のパン』木皿泉著

25歳で死んでしまった一樹。遺された嫁・テツコと一緒に暮らす一樹の父が、周囲の人物と関わりながらその死を受け入れていきます。それぞれの登場人物が心に抱く繊細な気持ちが書かれていて、最後には皆が幸せになる、心温まる物語です。　（３７H）

『夢をかなえるゾウ』水野敬也著

「お前なぁ、このままやと2000%成功でけへんで」ダメダメなサラリーマンの前に突然現れた神様“ガネーシャ”。人生のためになる言葉がたくさん書いてあります!!笑えるところもいっぱいあっておもしろいです。　（２１H）

図書館利用統計【11月1日~11月30日】



１１月の図書貸し出し総数は373冊でした。開館日数は26日で、１日平均にすると約23.3冊の貸し出しです。学年別では３年生が252冊、２年生が72冊で、１年生は37冊でした。入館者総数は2,166人で、１日平均約135の利用でした。図書館で授業をする時間ありました。長い冬休み、こたつでミカンならぬこたつで読書はいかがでしょう。

ありがとう

図書の寄贈がありました。
＊㈱河村様より
『北国新聞縮刷版１０月号
１冊

読書会を開催しました！

＊日時　12月15日(木)　15:30～16:30
＊テキスト　『少女たちのお話』永井均著
（河出書房社　1997年発行『ルサンチマンの哲学』より抜粋）
＊「いろんな人の意見が聞けてよかった」「１冊の本からこんなに話が広がっていくなんて面白い」「みんなの考えが少し恐かった」等の意見がありました。